

令和7年度在外公館長表彰式（第1回）

林大使挨拶

本日は、令和7年度在外公館長表彰授与式をこのように開催できることを大変嬉しく思います。

今回は、日本とブラジルの相互理解及び友好親善に特別な貢献をされた、ジョゼ・マリオ・ミウラ・コダマ・テレス氏、プリシーラ・チェミ・オカタ・ニシザワ氏及びヒロミ・タカノ氏を表彰いたします。

それでは、お三方の功績を紹介いたします。

ジョゼ・マリオ・ミウラ・コダマ・テレス氏は、当地の若手日系人リーダーとして、ブラジリア日本祭りやアニメサミットの運営をする等、日系社会のイベントの開催に大きく貢献しています。また、日系人だけでなく、日本文化に関心を有する多くの非日系人とも協力しながら当地における日本文化発信に主導的な役割を果たしています。これからも若手日系人のリーダーとして、日本文化の発信のためにも活躍されることを期待します。

プリシーラ・チェミ・オカタ・ニシザワ氏は、当地において、折り

紙アーティストとして、ブラジリア日本祭りや生け花展示会等で多くのワークショップを実施し、折り紙を通じた日本文化の発信を積極的に行ってます。昨2024年5月に岸田前総理が訪伯した際には、ブラジル政府からの依頼で、同総理に対するルーラ大統領の贈呈品を手掛けられました。また本年8月、ブラジル連邦議会で開催された原爆展においても、広島平和記念公園にある「原爆の子の像」に着想を得た作品を作成しました。引き続き、折り紙を通じて日本文化を発信していってもらいたいと思います。

最後に紹介するヒロミ・タカノ氏は、スミエ・ブラジル (Sumi-e Brasil) の代表として、当地において伝統的な日本絵画である墨絵を通じて日本文化の発信を積極的に実施しています。ブラジリア日本祭りにおいて展示会・ワークショップを開催するのみならず、ブラジリア連邦区議会における展示会等、様々な機会を通じて日本文化の発信に貢献しています。また、当地の学校において墨絵を通じた教育を実施し、子供たちの精神面での育成にも大きく貢献しています。

現在、ブラジリア連邦直轄区の議会内にて、セラードの自然と、日本の里山イニシアティブ、墨絵の芸術、をむずびつけた展覧会「Recortes do Cerrado」を実施されています。本展示会は26日ま

で実施され、私（林大使）の作品も展示されています。引き続き、墨絵を通じて日伯友好にも貢献されることを願います。

改めて、お三方の御功績に敬意を表し、また、御家族、御友人をはじめ、協力してこられた関係者の皆様に感謝しつつ、今回の受賞をお祝い申し上げます。